

行政コスト計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

行政サービスの提供コストである費用と、財源である収入の状況を示しています。
 当年度の市民負担と受益のバランスを明らかにすることを目的としています。

| 科目 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|--------|--------|--------|---------|
| 経常収入 | 2046億円 | 2082億円 | ▲ 37億円 |
| 経常費用 | 2066億円 | 2000億円 | 66億円 |
| 経常収支差額 | ▲ 20億円 | 83億円 | ▲ 103億円 |
| 特別収入 | 53億円 | 45億円 | 9億円 |
| 特別費用 | 2億円 | 3億円 | ▲ 1億円 |
| 特別収支差額 | 52億円 | 42億円 | 10億円 |
| 当期収支差額 | 31億円 | 125億円 | ▲ 93億円 |

通常の行政活動に関する収入
 通常の行政活動に関する費用
 上記2つの収支差額
 特別の事情により発生する収入
 特別の事情により発生する費用
 上記2つの収支差額
 経常収支差額と特別収支差額を合わせたもの

キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

資金収支の状況を行政サービス活動、投資活動、財務活動の3つの区分に分けて示しています。
 どのような要因で現金が増減したのかが分かります。

| 科目 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|--------------|--------|--------|--------|
| 行政サービス活動収支差額 | 96億円 | 132億円 | ▲ 36億円 |
| 投資活動収支差額 | ▲ 74億円 | ▲ 65億円 | ▲ 9億円 |
| 財務活動収支差額 | ▲ 14億円 | ▲ 41億円 | 27億円 |
| 収支差額合計 | 8億円 | 26億円 | ▲ 18億円 |
| 前年度からの繰越金 | 60億円 | 34億円 | 26億円 |
| 翌年度繰上充用金 | - | - | - |
| 当年度繰上充用金 | - | - | - |
| 当期末現金預金残高 | 67億円 | 60億円 | 8億円 |

行政サービスの提供に関する収支
 固定資産や基金の増減に関する収支
 資金調達と返済に関する収支
 上記の3つの収支差額の合計
 前年度末の現金預金残高
 翌年度から当年度に充当される資金
 当年度から前年度に充当される資金
 当年度末の現金預金残高(貸借対照表の現金預金と同じ)

純資産変動計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

純資産の変動を示しています。

| 区分 | 増加-減少 | 純資産残高 |
|--------------|-------|----------|
| 当期首純資産残高 | | 1兆3040億円 |
| 当期変動額 | 31億円 | |
| 開始残高相当 | - | 1兆2167億円 |
| 行政コスト計算書収支差額 | 31億円 | 904億円 |
| 当期末純資産残高 | | 1兆3071億円 |

行政コスト計算書の収支差額31億円を反映して、
 純資産が31億円増加しました。

市民1人当たりの資産・負債・純資産 (令和4年度は令和5年3月31日現在、令和3年度は令和4年3月31日現在)

| | 資産 | 負債 | 純資産 | 人口 |
|-------|-----------|----------|-----------|----------|
| 令和4年度 | 368万3055円 | 25万4512円 | 342万8544円 | 38万1238人 |
| 令和3年度 | 369万8644円 | 25万6152円 | 344万2492円 | 37万8781人 |
| 増減 | ▲1万5589円 | ▲1640円 | ▲1万3948円 | 2457人 |

令和3年度に比べ、市民1人当たりの資産は1万5589円減少し、負債は1640円減少しました。

吹田市新公会計制度による令和4年度財務諸表を作成

現金主義に基づく地方公共団体の決算を補完するため、企業会計に準じた発生主義による財務諸表を作成しました。

減価償却費などのコスト情報、資産・負債といったストック情報を「見える化」し、財務マネジメントなどへ活用します。詳しくは市ホームページでもお知らせします。

☎会計室(TEL6384・2502 FAX6368・9904)

- 数値は表示単位未満で四捨五入しているため、各項目の数値と合計額が合わない場合があります。
- 「▲」はマイナス、「0」は四捨五入の結果表示単位で0となるもの、「-」は金額が存在しないことを表しています。

貸借対照表

(令和4年度は令和5年3月31日現在、令和3年度は令和4年3月31日現在)

財務諸表の作成基準日における資産、負債、純資産の状況を示しています。資産は市民共有の財産、負債は将来世代の負担、純資産は資産から負債を差し引いたもので過去と現役世代の負担を表しています。

市の資産総額は1兆4041億円、負債は970億円、純資産は1兆3071億円となりました。

| 科目 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 | 科目 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|--------------|--------|--------|--------|-------------|----------|----------|-------|
| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
| 流動資産 | | | | 流動負債 | | | |
| 現金預金 | 67億円 | 60億円 | 8億円 | 地方債 | | | |
| 未収金 | 37億円 | 39億円 | ▲ 2億円 | 建設債 | 58億円 | 60億円 | ▲ 1億円 |
| 徴収不能引当金 | ▲ 17億円 | ▲ 13億円 | ▲ 4億円 | 特別債 | 16億円 | 17億円 | ▲ 1億円 |
| 財政調整基金 | 143億円 | 130億円 | 13億円 | 賞与引当金 | 17億円 | 15億円 | 1億円 |
| その他 | 18億円 | 21億円 | ▲ 2億円 | その他 | 25億円 | 25億円 | 1億円 |
| 固定資産 | | | | 固定負債 | | | |
| 土地 | 3632億円 | 3607億円 | 24億円 | 地方債 | | | |
| 事業用 | | | | 建設債 | 594億円 | 586億円 | 7億円 |
| 建物・工作物 | 1144億円 | 1156億円 | ▲ 12億円 | 特別債 | 68億円 | 74億円 | ▲ 6億円 |
| 建設仮勘定 | 45億円 | 26億円 | 19億円 | 退職手当引当金 | 152億円 | 153億円 | ▲ 1億円 |
| その他 | 26億円 | 21億円 | 5億円 | その他 | 41億円 | 41億円 | ▲ 1億円 |
| インフラ | | | | 負債の部合計 | 970億円 | 970億円 | 0億円 |
| 土地 | 7911億円 | 7884億円 | 27億円 | 純資産の部 | | | |
| 建物・工作物 | 497億円 | 510億円 | ▲ 14億円 | 開始残高相当 | 1兆2167億円 | 1兆2167億円 | - |
| 建設仮勘定 | 2億円 | 1億円 | 1億円 | 収支差額 | 904億円 | 873億円 | 31億円 |
| 物品 | 38億円 | 37億円 | 1億円 | | | | |
| 投資その他 | | | | 資産の部合計 | 1兆4041億円 | 1兆4010億円 | 31億円 |
| 出資金 | 69億円 | 69億円 | 0億円 | 負債・純資産の部合計 | 1兆4041億円 | 1兆4010億円 | 31億円 |
| 長期貸付金 | 174億円 | 185億円 | ▲ 11億円 | | | | |
| 徴収不能引当金 | ▲ 0億円 | ▲ 0億円 | 0億円 | | | | |
| 特定目的基金 | 257億円 | 278億円 | ▲ 21億円 | | | | |
| 基金貸付金徴収不能引当金 | ▲ 0億円 | ▲ 0億円 | 0億円 | | | | |
| その他 | - | - | - | | | | |

流動資産…1年以内に回収期日が到来する資産

徴収不能引当金…未収金や貸付金の徴収不能見込額

固定資産…流動資産以外の資産

事業用資産…主に公共用に使用する資産のうち、インフラ資産以外の資産

インフラ資産…道路、水路の資産

建設仮勘定…建設中の施設を完成までの間、暫定的に計上するもの

流動負債…1年以内に履行の期日が到来する負債

建設債…資産形成のために発行した地方債

特別債…財源補填のために発行した地方債

賞与引当金…翌年度の賞与支払予定額のうち、当期の負担相当額

固定負債…流動負債以外の負債

退職手当引当金…全職員が自己都合退職した場合の退職手当支給見込額